

(案)

脱炭素社会実現への挑戦

近年、日本各地ひいては世界中で、極端な気象現象（熱波、暴風、局地的豪雨等）が毎年発生し、その影響は気象現象が発生した地域だけにとどまらず広範囲に渡っています。このことは、温室効果ガスの排出がもたらす地球温暖化と深いかかわりがあることが指摘されています。

そして地球温暖化は、私たちの日常生活にその一因があることはいうまでもなく、今のまま大量生産・大量消費・大量廃棄の暮らしを続けたその先には、あらゆる生物の生存が脅かされる未来が待っています。

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量は、すでに取り返しのつかない地点にきているとも言われています。すぐにでも行動を開始する必要があります。

家庭から排出される温室効果ガスは全体のおよそ6割と言われ、本市では住宅都市という特性から、家庭部門の脱炭素に焦点を当てた、「ライフスタイルの変革（イノベーション）」が必須と考えます。

今後は、地球温暖化対策実行計画等の改定を行い、あらゆる施策を総動員し、取り組んでいきます。

規模の小さな地方自治体だけで取り組んで導き出される結果には限りがあります。脱炭素社会実現のためには、市民、事業者、近隣自治体とこれまで以上に協力し、脱炭素に資するとされるモノ・コトの背後に、格差や差別、そして搾取される存在がないか、一人ひとりが未来を想い、主体的に考え行動し続ける必要があります。

できないと諦めることなく、誰かに任せきりになることなく、現在と未来の子どもたちに、2050年カーボン・ニュートラルの実現を約束します。

2022年 月 日

返子市長